

おおさか文化遺産めぐり その218

浄土真宗の僧が手掛けた中世の宗教都市 江戸時代には一大商業都市として発展



富田市の富田林寺内町は、戦国時代に誕生した宗教都市で、江戸時代には商業の町として発展しました。町並みの美しさから大阪府唯一の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

町の中央に位置する興正寺別院。重要文化財

浄土真宗の布教拠点を経て 商業の町へ発展

寺内町とは、主に浄土真宗の寺院を中心につくられた宗教自治都市を指します。富田林寺内町（以下「寺内町」）は近畿地方を中心に何カ所も設けられる中で、和歌山方面への布教拠点の一つとして、永禄年間（1558～1561）に京都・興正寺の証秀上人が荒地地を買い上げて興正寺別院を建立したことに始まりました。

戦禍を避けるため、寺内町は石川に面した南と東側は5～10mの崖の上という高台につくられました。東西約470m、南北約400mの敷地の周囲に土塁と濠を巡らせ、出入り口は4カ所だけという要塞のような造りで、近隣の村から呼び寄せた庄屋たち「八人衆」による合議制のもと、宅地や畑などを計画的に配置した町づくりが行われました。江戸時代になると富田林近郊は綿や菜種の栽培が盛んになります。石川の水運に加え、

が印象的です（外観見学ののみ）。

春の雛めぐりと夏の燈路

3月7、8日は「じないまち雛めぐり」が開催され、町内各所に雛人形が飾られます。また、7～31日はスタンプラリーも行われます。8月は「寺内町燈路」が予定されています。



- 1 散策の拠点として情報提供をするじないまち交流館
- 2 旧杉山家住宅大床の間に描かれた老松の絵
- 3 富田林初の鉄筋コンクリート建築「中内眼科医院」
- 4 過去の「雛めぐり」で町のいたるところに展示された雛人形
- 5 「雛めぐり」の日は毎年多くの人でにぎわう



東高野街道と千早街道が交わる交通の要衝という地の利を生かし、酒造業、木綿問屋、油屋などの商家が建ち並ぶようになりました。江戸初期には51種、149の店があったと記録され、宗教都市から商業都市へと様変わりしていきます。特に酒造業は盛んで、町内の酒造家7軒で当時の河内全体の約20%を製造していました。近隣で撰れたブドウを使い、自家製葡萄酒を楽しんだ家もあったそうです。

旧家に螺旋階段、レトロな建築物も

江戸時代からの町並みのほか、明治から昭和初期の建物や構造物が点在しているのも寺内町の特徴です。

国の重要文化財である旧杉山家住宅は、町の創設に関わった「八人衆」の1人で、造り酒屋で成功した杉山家の屋敷です。大床の間には狩野派の絵師による老松の絵が描かれる一方で、2階へは近代的な螺旋階段が設けられていま

大阪府ウォーキング協会主催 大阪シティ信用金庫協賛

今月のおすすめウォーキング

3月のコースから一部をご紹介します

3月 曜	行事名	距離	最寄り駅・集合場所	集合時間	解散場所
11日 水	歩いて大坂橋めぐり	8km/11km	JR 桜ノ宮駅 毛馬桜之宮公園	9:45	JR 野田駅
15日 日	花めぐり③ 春を告げる花“ミモザ”を見に行こう!	7km/10km	阪急 池田駅	9:45	阪急 蛍池駅
18日 水	“砂場蕎麦と市電”創業の地他を歩く	10km	大阪メトロ 淀屋橋駅 大阪市役所南側	10:00	大阪メトロ 淀屋橋駅
21日 土	錦織公園の自然と富田林寺内町散策	12km	南海高野線 金剛駅 東出口	9:45	近鉄 富田林駅
28日 土	大阪城と大川のさくら	8km/11km	JR 森ノ宮駅 森之宮公園	9:45	JR 京橋駅

※参加費500円 事前お申し込み不要です。会場へ直接お越しください

Data

富田林寺内町
旧杉山家住宅

〒584-0033 富田林市富田林町 14-31
TEL : 0721-23-6117

【開館時間】10:00～17:00
【休館日】月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）12月29日～1月3日
【アクセス】近鉄長野線富田林駅から徒歩8分